輝く未来へ しほろ創生

広報 しほろ

2020 No.713 4

■主な内容

- 佐倉小学校閉校式・佐倉保育所閉所式……P２-３
- 令和２年度町政執行方針・教育行政執行方針……P４-13
- 士幌町文化賞・スポーツ賞等　受賞者のご紹介……P14-16
- 副町長就任・退任のごあいさつ……P17
- 第14回女性サミット……P18-19
- 全国大会７年ぶり３度目の優勝！～士幌町中央中～……P20
- 下の句かるた大会……P22
- 春季町づくり懇談会……P23
- 地域おこし協力隊員だより　退任のご挨拶／60歳以上のドライバーの皆さん運転免許証を自主返納するとバス運賃が半額になります!!……P24
- ３月議会で可決された主な案件……P25
- 退職者（管理職）のご挨拶……P26
- 教育の窓～令和２年度士幌町の教育～……P33

大好きさくら　これまでも　これからも **佐倉小学校閉校式・佐倉保育所閉所式**　詳細は、２～３ページに掲載していますので、ぜひご覧ください！

佐倉小学校閉校式・佐倉保育所閉所式

大好きさくら　これまでも　これからも

佐倉小学校　校歌

作曲　太田　戚
作詞　佐藤　法一

一　清き川もに　影写す
　佐倉の峰の　美しき
　優しき心　胸に抱き
　われらは　佐倉小学生

二　から松林　通り抜け
　わが学園の　陽に映ゆる
　明るき心　胸はりて
　われらは　佐倉小学生

三　祖先の功　うけつぎて
　みのり豊かな　故郷に
　まことの心　胸にもち
　われらは　佐倉小学生

4代目校舎（現校舎）　平成10年

2月23日、今年度末をもって閉校する佐倉小学校と昨年度末で閉所した佐倉保育所の閉校閉所式が佐倉小学校体育館にて開催されました。児童、教職員、地域住民などのほか、交流のある千葉県佐倉市からも駆けつけ約250名が出席しました。

式では、小林町長が「地域を挙げての教育に対する情熱は着実に発展を導き、ご尽力くださった皆様に敬意と感謝を申し上げる。子どもたちが佐倉魂を発揮しながら、ますます活躍することを祈念する」と式辞を述べました。その後、閉校閉所事業協賛会の山岸均会長をはじめ、歴代のPTA会長、保育所理事長らに感謝状が贈られました。来賓や校長などのあいさつに続き、児童会長の篠原逸冴さん（6年）が「今年は運動会などの毎年の行事も最後だと思うといつも以上にやる気が出た。閉校記念行事もたくさんあり、さくら夏祭りは最高の思い出。新しい学校生活では地域の方々、お父さんお母さん、先生方から教わったことを大切に成長していきたい」と力強くあいさつ。山畑愉徳教頭から小林町長に校旗が返還され、出席者全員で校歌を斉唱しました。

式典後には、佐倉地区を開拓した佐倉藩主堀田正恒伯爵の子孫である佐倉堀田第13代当主の堀田正典氏による「千葉佐倉と士幌佐倉の絆」と題した記念講演が行われ、佐倉地区の由来や学校設立の歴史、千葉県佐倉市立佐倉小学校との交流の歩みを振り返りました。

その後開かれた協賛会主催のさくら感謝の集いでは「想い出のアルバム」と題したスライドショーに続き、児童による森山直太朗の「さくら」の合唱。さらには、千葉の佐倉小学校から届いたビデオレターの児童が歌う「桜のまち」に士幌の児童も合わせて歌いました。

最後には「大好きさくら、これまでも、これからも」と出席者全員で読み上げ、103年の思い出の学び舎に別れを告げました。

沿　革

大正6年
佐倉尋常小学校創立（児童37名）

大正11年
川上村立佐倉尋常小学校に改称（児童85名）

大正15年
士幌村立佐倉尋常小学校に改称（児童93名）

昭和16年
佐倉国民学校に改称（児童78名）

昭和22年
士幌村立佐倉小学校に改称（児童106名）

平成30年
令和元年度をもって閉校と決定（児童20名）

3代目校舎　昭和39年

2代目校舎　昭和11年

初代校舎　大正5年

佐倉堀田第13代当主
堀田正典氏による記
念講演「千葉佐倉と
土幌佐倉の絆」

佐倉の地名と学校設立

佐倉の地名は、この地を開拓した佐倉藩主堀田正恒伯爵の佐倉農場に由来します。大正２年から開拓が始まり、開拓が進むと同時に入植者が増え、子どもたちの教育が必要になりました。堀田伯爵は学校用地と校舎建設費を寄付し、大正６年に佐倉小学校が開校されました。

千葉県佐倉小学校との交流

昭和60年の佐倉小学校70周年の折、佐倉地区開拓縁の取材のため町議会議員らが千葉県佐倉市の堀田邸を訪問した際、近隣に同じ「佐倉小学校」があることがわかり、平成４年から千葉県佐倉市立佐倉小学校との交流が始まりました。昨年度で27回目の交流となり幕を下ろすことになりました。

3月6日に開会した第1回定例町議会において、小林康雄町長が町政執行方針を述べました。内容は次のとおりです。

令和２年度
町政執行方針

協働の町づくりで
町民力・地域力の向上
“賑わい”・“元気”・“潤い”の
ある町を目指して

Ⅰ はじめに

日本経済は好調な企業実績が続く中でプラス成長となるなど拡大基調にありますが、米中貿易摩擦や英国ＥＵ離脱など不安定な国際関係とあわせ、実質賃金や個人消費の伸び悩みなど内需主導の景気回復が不充分な状況にあり、経済動向は依然として不透明な状況が続いています。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大は国民生活や国内経済に大きな影響を及ぼしており、非常事態としての対応が求められております。

そのような中、令和元年度補正および令和２年度当初予算については、一人ひとりの人材の質を高める「人づくり革命」と成長戦略の核となる「生産性革命」を基本としつつ、防災・減災、国土強靱化などとあわせＳｏｃｉｅｔｙ５・０やスーパーシティなど新時代への取り組みも図りつつ、財政の健全化をも進展させる方向が示されています。

国際化やグローバル化が進行する中、地方においては人口構造の変化、働き手不足、医療・介護問題、自然災害の多発など、町を取り巻く環境が大きく変化する中にあって、行財政、産業経済、町民生活と何れの分野においても厳しさ、多様さが増しています。そのような中での町政推進は、時代のニーズをしっかり踏まえつつ、健全な財政運営に留意しながら、戦略的な視点を持った地域づくりを積極的に推進しなければなりません。

令和２年度は私にとって町政６期目の折り返しとなりますが、第６期町づくり総合計画（平成28年度～令和７年度）、第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和２年度～令和６年度）の推進方向を踏まえながら、

・協働の町づくりで町民力・地域力の向上
・時代のニーズを踏まえた戦略的かつメリハリのある町政の推進
・〝賑わい〟〝元気〟〝潤い〟のある町を目指して

を政策展開の基本とし、地域の人・産業・資源を活かした「活力のある町」と町民誰もが安心・安全、生きがいを実感出来る「豊かな町」を目指し、全力を傾注して町政を推進して参る決意であります。

Ⅱ 施策の基本

我が国の経済は金融政策、財政政策、成長戦略などの経済財政対策の推進により雇用・所得環境が改善し景気の拡大が続いていますが、将来への不安や税・社会保障負担の増加などにより個人消費の伸び悩みが見られ、令和元年度の国内総生産の実質成長率は、０・９％程度（名目成長率は１・８％程度）と見込まれています。令和２年度の経済見通しは、雇用・所得環境の改善により更に経済の好循環が進む中、内需を中心にして景気の回復が見込まれることから、令和２年度の国内総生産の実質成長率は１・４％程度（名目成長率は２・１％程度）と見込まれていますが、消費税増税による消費の低迷や新型コロナウイルス感染による影響が危惧されています。

そのような中での財政政策は、経済再生と財政健全化の両立を目指す予算として編成され、昨年12月20日に閣議決定された令和２年度の政府予算は「人づくり革命」と「働き方改革」を基本に、希望出生率１・８や介護離職ゼロなど一億総活躍社会実現への取り組み、全

世代型社会保障の構築、防災・減災と国土強靱化を重点施策とし、一般会計は102兆6，580億円、前年度比1兆2，009億円、1・2％増と当初予算として、2年連続で100兆円を超す大型予算となったところであります。経費別では、社会保障費（35兆8，608億円　5・1％増）、防衛費（5兆3，133億円　1・1％増）などの伸びが続いております。歳入における国債発行額は税収の伸びにより、32兆5，562億円と1，043億円の減額となり公債依存度が31・7％（令和元年度32・2％）となったものの、今年度末における国と地方をあわせた長期債務残高は、1，122兆円（平成30年度末1，105兆円）と見込まれ、先進国でも突出して多い状況にあります。

また、北海道開発予算は災害復旧、国土強靱化を重点として、農業農村整備費（13・9％増）や治水事業費（23・5％増）、水道事業費（56・4％増）が伸びる中、前年度比0・5％増の6，393億円となりました。地方財政対策については一般財源（水準超過経費を除く）61兆7，518億円（前年度比1兆746億円　1・8％増）となり、その内地方交付税は16兆5，882億円と前年度比4，073億円で2・5％増となりました。平成27年度に創設された「まち・ひと・しごと創生事業」については、引き続き1兆円が確保され、さらに、地方創生の深化のための地方創生推進交付金1，000億円が引き続き措置されたところであります。

また、財源不足の補填措置である臨時財政対策債は3兆1，398億円と前年度比1，171億円で3・6％減となりました。

このような国の経済、財政の動向の中にあって、町の行財政を取り巻く環境は依然として厳しいものがあり、その状況を踏まえつつ令和2年度の予算編成を行ったものでありますが、今後も財政の健全化に一層留意をしなければならないものと、認識をしているところであります。本年度も第6期町づくり総合計画および個別計画の推進とあわせ、第6期行政改革推進大綱にのっとり効率的かつ計画的な行財政運営に留意しつつ、時代のニーズを踏まえた積極的な施策を展開する戦略的かつメリハリのある町づくりを推進して参る所存であります。

Ⅲ　重点施策

時代のニーズを踏まえた計画的かつ効率的な町づくりの推進

本年度においても第6期町づくり総合計画、第2期士幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略により、町づくりを推進するものでありますが、町づくり総合計画については「基本計画の中間見直し」を行うものであります。推進にあたっては、政策調整推進会議をはじめとする庁内組織と連動して町民会議や地方創生推進会議など、町民や関係機関・学識経験者にも広く参画をいただきながら推進をして参りたいと存じます。次に、財政健全化に向けての取り組みでありますが、国においては「新経済・財政再生計画」を推進し、基礎的財政収支（プライマリーバランス）の改善を目指すものとしているところであります。地方においても、地方交付税は増額（＋4，073億円　＋2・5％）となったものの臨時財政対策債が減額（▲1，171億円　▲3・6％）となるなど一層厳しいものがあり、地方自治を取り巻く環境がより多様で厳しくなる中にあっての町政推進は、時代のニーズをしっかり見極めながら、より計画的かつ効率的な運営に留意しなければなりません。本町においては、町の担う事務事業が多いこととあわせ、経常収支比率が高く（平成30年度決算88・6％）、財政の硬直化が進んでいる状況にあります。第6期行政改革推進大綱の徹底はもとより次期大綱に向け全体的な行財政の点検、検証を行い、行財政運営により配慮をして参る所存であります。また、「過疎地域自立促進特別措置法」の対象となっていないことから、財源確保に苦慮しているところであり「過疎法適用外小規模町村連絡会議」の活動を通じて、令和3年4月の新法移行に向け適用外小規模町村への支援を強く要求して参りたいと存じます。

地方創生の推進に向けた取り組み

地方創生は第2期総合戦略として

・地域産業の活性化と多様な雇用の創出

・交流・移住・定住の促進

・結婚・出産・子育ての支援

・安心して住み続けられる地域づくり

を4つの基本目標として継続し、第1期総合戦略で取り組んだ事業に新たな視点を加え、必要な強化を図り推進していくものであります。新年度の重点事業として

⑴多様な雇用やニーズに対応する住宅対策

⑵次世代農業（スマート農業など）の推進

⑶士幌高校の魅力向上と未来をけん引する若者支援による波及促進事業

⑷情報発信機能の充実

を地方創生推進交付金などを活用しながら積極的に推進し、定住人口の安定、移住の促進、交流・関係人口の拡大など、地域の活性化を図って参る所存であります。また、本町においては、平成28年度末から平成30年度末までに4校、令和元年度末に1校のあわせて5小学校が閉校となりますが、これら旧施設を地域振興に向け有効活用するべく「旧小学校施設等利活用推進事業」により、利活用を図って参りたいと存じます。さらには、道の駅ピア21しほろ、士幌高校、そして農畜産物加工研修施設などの拠点施設と推進組織である「㈱ＣｈｅｅｒＳ」との連携により**〝食の創造〟〝担い手育成〟〝まち発信〟**などを推進しながら町の活性化に資して参りたいと存じます。

活力ある地域産業の振興と地域活性化の推進

基幹産業である農業をめぐって気象の偏りが大きい状況下での生産でありましたが、十勝の農業生産額は3，549億円で、目標であった3，500億円超となり、本町においても昨年度の461億円を超え7年連続の史上最高となる見込みであります。地域の経済・財政への波及効果も大きく、改めて十勝・士幌は農業であるとの感を強くするものであり、生産者・関係機関のこれまでの努力に敬意を表すものであります。その一方で、ＴＰＰ11や日欧ＥＰＡに続き、日米貿易協定が発効となるなどにより国際化が進んでいますが、あわせて本年度より新「食料・農業・農村基本計画」がスタートするものであり、それらの動向をしっかり見極めながら対応していかなければなりません。国際化・グローバル化が進む中にあって、これまでの生産性の高い士幌型農業に加えて、農業・農村の多面的機能を発揮しながら、

・「食」の発信

・多様な経営形態の検討

・担い手の育成

・スマート農業の推進

などの取り組みを、農業振興対策本部（審議会・執行部会）が中心となって推進して参りたいと存じます。

一方、景気低迷や消費流出が続く中、商工業を取り巻く環境も一層厳しいものがありますが、商工業は農業と並ぶ主要な産業であることとあわせ、高齢社会の進行や消費者ニーズの多様化が進む中にあっては、新たなサービス機能の充実も必要と認識をしているところであります。近年において新しい道の駅オープンとあわせ、ＪＡアスポ店の改築、ホームセンター「ニコット」の進出、町内5店舗目となるコンビニエンスストアの開店など、商業環境が変化しているところであります。商工会関係の皆様にもこれらの動向と連動する積極的な取り組みに挑戦していただきながら、町内購買への誘導・喚起を強め、消費者との接点強化、商店街環境の改善など活性化対策を推進しなければなりません。

次に、道の駅ピア21しほろについてでありますが、3年目となる令和元年度においても大勢の方においでいただき、2年3か月で来場者１００万人を達成したところであります。ニーズに応えつつ、重点道の駅として役割を発揮すべく指定管理者、収益事業者はもとより「㈱ＣｈｅｅｒＳ」や農畜産物加工研修施設などとの連携を図りながら、更なる充実を目指して参りたいと存じます。

次に、労働力不足は何れの職種においても大きな課題となっている中、昨年は、外国人労働者の受け入れ拡大に向けての法律改正もされたところであり「士幌町雇用対策連絡調整協議会」において連絡・調整を進めるとともに、農業振興対策本部や「㈱ＣｈｅｅｒＳ」との連携のもと、働き手の確保、労働環境の改善を推進して参る所存であります。

また、産業振興を進める上で担い手の育成は重要な課題であり、町内関係機関との連携の下、調査・研究やモデル事業を行いながら積極的に推進して参りたいと存じます。

子育て支援の推進

子育て支援はこれまでも主要施策として推進して参りましたが、人口減少に立ち向かうべく地方創生においても子育て支援は重要なテーマの一つであり、「第2期子ども・子育て支援事業計画」（令和2年度～令和6年度）とあわせ、第2期総合戦略の基本目標により、重点施策として事業を展開して参りたいと存じます。本町においては、

・子育て祝い金制度の創設
・認定こども園、子ども交流センター（放課後児童健全育成事業学童保育所、放課後子ども教室）、こども発達相談センターの開設
・保育料、学校給食費、補助教材費、検定料など保護者負担金の軽減
・専門職の配置による要支援児対策、少人数学級（小学1・2年生30人学級など）
・病後児保育の実施
・日中一時支援事業の展開
・ALTの配置（3人）

などを子育て支援として推進しているところでありますが、新年度において認定こども園等（3歳未満児）、小中学校（保健室）へのエアコンの設置、GIGAスクール構想実現に向けた校内通信ネットワークの整備、小・中・高校の玄関のオートロックの設置などを行うとともに、認定こども園の改築の検討を進める予定であり、更なる子育て環境の充実を図って参りたいと存じます。

一方、全国的に子どもの虐待や事故の頻発や子どもの貧困と言われる事態を大変憂慮しているところであり、地域を挙げて子どもを守るために町・教育委員会・児童相談所・警察など関係機関の連携を徹底し、取り組んで参りたいと存じます。

安心安全が実感できる町

少子高齢化、核家族化の進行と相まって国の社会保障制度が見直される中にあって、保健・医療・福祉の推進においては実態や動向に注視をしながら、よりきめの細かい対応が必要であると認識をしているところであります。

まず、健康づくりの推進については「健康イキイキしほろ21計画（第二次）」（平成27年度～令和6年度）や「第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）」および「第3期特定健康診査等実施計画」（平成30年度～令和5年度）に基づき、啓蒙活動の徹底や巡回健診の定着（2会場9回）を図りながら実施しているところでありますが、特定健診の実施状況についてはまだ地域差も大きく全体として目標に達していないのが現状であります。令和2年度において特定健診受診率56％（令和4年度60％）、特定保健指導率56％（令和4年度60％）の目標達成に向け、積極的に啓蒙活動を展開して参りたいと存じます。

次に、高齢者および障がい者の福祉についてでありますが「第3期地域福祉計画」「第7期介護保険事業計画」および「第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画」の最終年を迎えますが、福祉関係団体との連携のもと計画を推進するとともに次期計画の策定について、2月に開催した保健医療福祉総合推進協議会に諮問したところであります。今後においては、アンケートの実施や関係団体の意見を聞きながら計画の策定を行う予定であります。

高齢者に関しては医療や介護における自己負担が増加する傾向となっており、社会保障費抑制の方向は今後更に強まることが予想され、その動向をしっかり見据えなければなりません。一方、本町において、施設型サービスの利用が多いこともあり介護保険料は十勝では最高位（標準月額6，100円）となっているところであり、介護予防と在宅介護を支える環境づくりを一層進めて参りたいと存じます。

障がい者福祉ではNPO法人「士幌町障がい者支援の会」により「障がい者総合施設」を拠点として、

・日中一時支援
・地域活動支援センター
・就労継続支援B型

の事業が展開されているところであり、ＮＰＯ法人とも連携しながら機能の充実を図って参りたいと存じます。

高齢者住宅および障がい者総合施設などの整備により「福祉村」内におけるハード面の整備はほぼ完了していることから、今後においては、その機能の連携を図りながら「地域包括ケアシステム」の確立に向けた取り組みを展開して参る所存であります。さらに、地域福祉計画に基づき、社会福祉協議会など福祉関係団体と連携しながら、全地域で展開されている「ふれあい・いきいきサロン」や「見守りネットワーク事業」など、地域で支え合うシステムづくりを積極的に推進して参りたいと存じます。

地域福祉の推進に向けては交通手段の確保が重要な要素でありますが、市街地におけるコミュニティバス運行(平成27年度開始)とあわせ、令和元年度に「75歳以上で運転免許証を有しない」高齢者を対象として「高齢者移動支援実証事業」を行ったところでありますが、新年度より対象者を拡充して実施をするものであります。

次に、地域医療に関わってでありますが、医師・看護師不足、診療報酬の改定などにより、自治体病院を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、令和元年度において厚生労働省より公立・公的病院の再編リストが公表されるなど、病院経営の改善に向けた動きが加速されています。病院問題は町にとって大きな課題懸案であると認識しているところであり、国保病院が町内唯一の医療機関、保健・医療・福祉を包括する「福祉村」の中核施設としての役割を担うものであります。サービスの向上とあわせ経営改善の取り組みを行っているところでありますが、依然として一般会計から4億円超の繰り出しを行っているところであります。平成30年度において「町立病院改革プラン」に基づき、2病棟60床から1病棟50床としたところでありますが、今後において、人口構造や医療ニーズの変化を踏まえつつ、施設や経営形態に至る抜本的なあり方の議論を集中的に行って参りたいと存じます。

一方、「東日本大震災」から間もなく9年を迎えようとしていますが、その後も集中豪雨や火山噴火など全国的に大きな被害が発生しているところであり、平成28年には4つの台風が上陸する中、十勝全体が激甚災害の指定となる未曾有の大災害となり、さらに、一昨年は胆振東部地震(震度7　北海道では史上最高)で北海道全体が最大2日間停電となる「ブラックアウト」が発生しました。大規模な自然災害が毎年のように繰り返される中、今後においても自然災害への対応は極めて重要であります。地域防災計画により、防災備蓄品の整備や自主防災組織の設立を推進しているところでありますが、新年度において「防災無線」の整備や防災拠点(役場)の非常用電源設備の増強を行う予定であり、防災機能の充実や防災意識の向上を図りながら、少子高齢化社会にあって〝**町民誰もが安心・安全を実感出来る地域づくり**〟に一層留意をして参る所存であります。

農村環境の充実

21世紀は食料、環境、エネルギーの世紀と言われる中、自治体における環境対策も一層重要となっているところであります。本町における環境対策は従前からの公害防止対策、ごみの適正処理(リサイクル、有料化)、快適環境づくり事業、自然環境保全対策に加えて、省エネとしての「環境マネジメントシステム」(ＬＡＳ－Ｅ)や新エネルギービジョンを策定して、再生可能エネルギー事業を推進しているところであります。「第2期士幌町環境基本計画」(平成30年度～令和9年度)に基づき取り組むものでありますが持続可能な農業、豊かな農村づくりに向け、ＳＤＧｓ(持続可能な開発目標17項目)を第2期総合戦略の施策に位置付け推進して参る所存であります。

その他、広域連携の拡大に取り組むとともに、多面的機能支払交付金事業(全町9地区14，440ha)の継続、農業基盤整備事業(国営・道営)の推進、ふるさと納税の普及・拡大、技術職員(介護福祉士、保育士など)確保対策、バイオガスプラントの課題解決、分散型エネルギーによる電力供給システムの検討、会計年度任用職員制度による適切な人事管理など、主要懸案事業に精力的に取り組んで参りたいと存じます。

3月6日に開会した第1回定例町議会において、堀江博文教育長が教育行政執行方針を述べました。内容は次のとおりです。

令和２年度
教育行政執行方針

次代を担う子どもたちの心豊かな成長と町民の活気と潤いに満ちた生涯学習社会の創造を目指して

Ⅰ　はじめに

教育基本法は「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない」と、その目的と基本理念を明確にしているところであります。この理念を踏まえ、町民の信頼と期待に応えるために必要な教育環境を整備し、教育の質を高めていくことは極めて重要であり、平成29年度から4年間を計画期間とする「士幌町教育振興基本計画」に基づき、教育施策の総合的・計画的な推進を図ってまいります。

今日の社会は人口の減少、少子高齢化に加え、グローバル化、産業構造の変化など数多くの課題を抱えており、これからの社会はＩｏＴやビッグデータ、人工知能をはじめとする急速な技術革新やグローバル化の一層の推進などにより、大きく変化することが予想されています。そうした中、本町の学校教育においては、教育実践のテーマである「過去を見直し、今を見極め、先を見据える教育」を基調とし、子ども一人ひとりが夢と希望を持って「生きる力」を身につけるため、学校はもとより家庭や地域と連携して「確かな学力・豊かな心・健やかな体」の調和のとれた育成をめざし、地域の温かい眼差しの中で、未来を担う子どもたちが人間性豊かで創造性にあふれ、心身ともにたくましく成長するよう充実した教育環境づくりに取り組みます。また、社会教育においては、すべての人々がスポーツや文化活動など多様な活動に参加し、生きがいを持って心豊かな生活を営み、生涯にわたって学びその成果が活かせる生涯学習社会を展望しつつ、教育行政を推進してまいります。

Ⅱ　重点施策

1学校教育

学校においては、子どもたちが社会の一員として自立し、たくましく生きていくため知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成、すなわち「生きる力」を育成することが極めて重要であります。

基礎・基本を身につけた確かな学力

・学校改善プラン

平成31年4月に実施した本町の全国学力・学習状況調査の結果につきましては、小学校では国語、算数何れも全国平均を下回りました。中学校では、国語は全国平均を若干上回り、数学は全国平均を下回り、英語は全国平均を上回る結果となりました。各学校では子どもたちの学力向上のために、全校的な学校改善プランを策定し、継続的な取り組みを粘り強く進める一方、具体的な授業改善や個に応じた指導の充実に努めていますが、今後はそれらの取り組みを更に充実させてまいります。

・学習サポート

平成22年度から各学校および教育委員会で開始した子どもへの学習サポートは、年を経るごとに内容が充実し、支援体制や家庭との連携の部分でも着実に効果が見られるようになってきておりますが、今後とも全ての小・中学校において、基礎基本の定着、苦手な学習の克服、自主的な学習態度の育成等を図るため継続することとして、更に効果の上がる取り組みにしてまいります。その一つとして、教育委員会が平成26年3月から開始した北海道大学の学生による「学習サポート塾」には多くの小・中学生が参加し、学習、読書、運動等で大学生からいろいろなことを楽しく学ぶ機会となっており、今後も更に充実を図りながら継続してまいります。

・臨時教諭等の配置

全国的に教員が不足している状況にありますが、日常の授業においては個に応じた指導の一層の充実を図るため、士幌町立小学校における学級編制等に関する規則に規定する基準により、低学年の少人数学級編制等、町費負担による臨時教諭の配置を継続実施することができるよう努力してまいります。また、必要に応じて学校に臨時教諭、臨時講師、支援員を、医療的ケアが必要な児童生徒が就学する学校には看護師の配置を行ってまいります。

・集合学習

小規模複式校においては、子ども一人ひとりの願いや思いを大事にし、少人数であることのメリットが最大限発揮できる教育活動を展開していきます。また、集団活動や学び合う意識など、多人数でなければ体験できない学習を補うため、集合学習の内容に工夫を加えながら、更に積極的に推進してまいります。

・外国語教育

本年度から学習指導要領の改訂により、第３・４学年は「外国語活動」年間35単位時間、第５・６学年は「外国語（英語）」年間70単位時間の教科となるため、本格実施前の昨年度から先行実施しておりますが、確実に実施することができるよう指導してまいります。

・特別支援教育

校内連携会議や特別支援教育コーディネーターを中心に、全職員による特別支援教育の推進体制の充実を図るほか、特別支援教育支援員を要所に配置して、子ども一人ひとりの能力や可能性を伸長するきめ細かな指導、支援に努めてまいります。また、教育委員会、学校、こども園、保育所等の関係機関の連携組織である「士幌町子育ち支援連携協議会」で協議し、特別な教育的支援が必要な子ども一人ひとりに乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を推進してまいります。

・ＩＣＴ活用教育

教科指導における情報通信技術（ＩＣＴ）の活用、情報活用能力の育成、校務の情報化の３つの側面を通して教育の質の向上を目指すため、ＩＣＴ機器等の整備を計画的に進めてまいります。本年度は特に、国において児童生徒向けの１人１台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するための経費が予算化されたため、これに係る補助事業と学校のＩＣＴ環境整備に係る地方財政措置を活用して整備を行ってまいります。

・プログラミング教育

学習指導要領の改訂により、本年度から小学校教育でプログラミング的な思考を身に付けることを目標とした「プログラミング教育」が完全実施されますが、研修等により教員の指導力の向上を図ってまいります。

・教職員研修等

学校教育の成果は、教職員の資質能力と熱意によるところが極めて大きいことから、教職員が教師力を高める機会を拡充するとともに、研修内容の充実を図り能力を最大限発揮できるよう学校運営を支援してまいります。そのために、学校教育指導の機会を活用したり、各種の研究会や研修会に積極的に参加したりしてプロの教師としての腕を磨く研修を積極的に後押しするよう努めてまいります。また、教職員の資質や実績を正しく評価することで教職員の意欲を引き出すとともに、学校教育に対する信頼を確保するため、教職員の服務規律の徹底を図ります。

優しさと思いやりのある豊かな心

子どもたちが互いを尊重し、ともに支え合いながら社会の一員として成長するためには、学校・家庭・地域が連携しながら、心身の健やかな発達を支えていくことが大切です。

・道徳教育

命を大切にする心や思いやりの心、公共心や規範意識を育てるため、あるいは社会性や豊かな人間性を育むため、道徳教育の充実に努めます。具体的には、道徳の授業を参観日等で広く公開することに努めるとともに、道徳教育用教材「私たちの道徳」や北海道版道徳教材「きた・ものがたり」「北海道おもてなしハンドブック」を学校教育全般にわたって有効に活用するよう努めてまいります。また、「特別の教科　道徳」は、小学校は一昨年度から、中学校は昨年度から全面実施となっており「考え、議論する道徳」に基づく授業改善等を確実に推進するよう指導してまいります。

・いじめ防止対策

いじめは、いじめを受けた子どもの教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長および人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命または身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものです。いかなる理由があろうと絶対に許さないという強い認識に立ち、緊張感を持って未然防止に努めるとともに、早期発見・早期解消に取り組むことが

必要です。国が示した方針に基づき、教育委員会と各学校が策定した「いじめ防止基本方針」は、それぞれの状況や実態に応じて作られたものですが、小さないじめはどの学校でも起こり得るものであり、各学校においては必要に応じて見直しを行うとともに、教職員の組織的な取組や児童生徒への指導、保護者・地域への説明を年間通して推進するよう努めてまいります。

健康とたくましい体力

・体力向上

令和元年度の本町の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果につきましては、小学校では8種目中、男子が2種目、女子が5種目で全国平均を上回りました。中学校では9種目中、男女とも8種目で全国平均を上回る結果となりました。この他、体力合計点の平均値では小学校女子が全国平均を上回り、中学校においては、男女とも全国平均を上回りました。各学校では、子どもたちの運動の日常化の取り組みの実践を行っていますが、体力を向上させるためには、学力と同じように毎日地道に取り組むことが大事なことであり、新体力テストの全学年実施や1校1実践の取り組みを更に充実させてまいります。

・早寝早起き朝ごはん運動

日常の規則正しい生活習慣の確立が子どもたちの心身ともに健やかな成長に大きな影響を与えることから、家庭との連携を強化して、実効性を伴った早寝早起き朝ごはん運動を推進してまいります。

・スポーツ少年団活動、部活動

本町の児童生徒は、スポーツ少年団活動・部活動参加率が高く、各種スポーツ競技大会での成果が注目されていますが、健康・体力や運動能力の一層の向上を図る方策として、これらの活動を積極的に支援してまいります。

安全・安心な教育環境づくり

学校は、子どもたちにとって安全で安心して学ぶ場でなければなりません。通学時の安全対策を含めて、実践的な防災・防犯教育を進めるとともに、子どもたちの安全・安心を確保し、快適に学ぶことができる教育環境を整備するために、家庭や地域・関係機関との連携を図ってまいります。子どもたちの安全・安心に対する教職員の意識の高揚や学校における様々な危機を想定し対応する体制の整備を図るとともに、引き続き保護者には、道警「ほくとくん防犯メール」への登録を案内してまいります。

大地くんと学ぼう

本町の特色ある教育の一つである食農体験学習「大地くんと学ぼう」は、地元で生産される農畜産物などを利用した食品加工体験を通して、地域の産業や食育を学ぶなど、管内的にも注目される取り組みとして継続して実施してまいります。

お弁当の日

本町における「お弁当の日」の取り組みについては、平成26年度から町内の全小学校で実施するようになりました。今後も保護者の理解や協力を得ながらこの取り組みを継続し「お弁当の日」が家族団らんの機会を増やし、家庭に明るい笑顔をもたらすことにつながることを願うものです。

都市交流事業

各小学校間で長い歴史がある都市小学校との交流事業は、子どもたちの日常生活では経験することのできない貴重な体験を通して、人間形成に大きな役割を果たすものと考えます。事業実施にあたっては、相互交流を基本とすることから交流先の理解と協力が必要となりますが、子どもたちの心に残る事業実施に向けて協議を進め、本事業の目的達成に努めてまいります。

学校給食

衛生管理や指導の徹底を図るとともに、食の安全確保に努めてまいります。地産地消の推進につきましては、町内生産者でつくる「もぎたて市なかよし会」や士幌高等学校の協力の下、士幌産の食材を生きた教材として活用し安心できる給食を提供することで、地域の食文化への理解を深める取り組みを進めていきます。また、栄養教諭等による食育の指導を通し望ましい食習慣や生活習慣の確立に努めていくため、平成27年度から月1回、献立の中に「和食の日」を設けており、更なる和食への理解を深めることといたします。さらに、食物アレルギーを有する児童生徒が他の児童生徒と同じように学校生活を安心して過ごすことができるように、教育委員会や学校においては、学校給食等における食物アレルギーの対応を進める必要があり、平成27年度に教育委員会が策定した「学校における食物アレルギー対応の指針」および「学校における食物アレルギー対応マニュアル」を活用し、町内の学校におけるアレルギー対応について、町内の関係者が共通認識を持って対応に当たることにします。

士幌高等学校

農業および農業関連産業の担い手育成をめざし、地域の信頼に応える教育実践を経営方針として学校経営を展開してまいりました。近年は少子化の影響から、郡部校の存続が極めて厳しい状況にあるものの、本校の農業教育の実践は望ましい勤労観や職業観を育むとともに、修学支援制度や海外文化交流事業などを活用し、農業の魅力を伝え地域を支える産業人育成のために大きな役割を果たしているところです。今後につきましても、本校の魅力をより一層高め、環境に配慮した安全・安心な専門性の高い農業教育を実践することを目標に、全教職員が一丸となって取り組んでまいります。

こども発達相談センター

平成28年度に開設した士幌町こども発達相談センターの管理・運営を町長から事務委任を受けて教育委員会で実施しております。児童の心身の発達に関する相談、指導、療育等の支援を行う事業のほか、児童福祉法に基づく指定通所支援事業所として、児童発達支援、放課後等デイサービス、相談支援、保育所等訪問支援の事業を適切に実施してまいります。

授業時数の確保に向けた取り組み等

台風等による臨時休業やインフルエンザ等による学級閉鎖などが発生した場合にも授業時数を確保することができるよう、平成30年度から小・中学校を対象に土曜日に学校行事等を実施した際、少なくとも1回は翌月曜日を休業日とせず授業日とする取り組みを実施しておりますが、本年度も継続して実施してまいります。

小学校の在り方

今後、我が国は人口減少と少子高齢化の急速な進展が現実のものとなり、本町においても児童数が急激に減少することになるため、各小学校の将来の児童数を毎年度推計してまいります。

コミュニティ・スクール

子どもたちの健やかな成長を支えるためには、学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで子どもたちを守り育てる環境をつくる必要があります。そのため、地域住民や保護者が学校運営に参画し学校が地域と一体となって子どもたちを育み、特色ある学校づくりを推進する「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を平成30年度から認定こども園を含め町内の全ての小・中・高等学校に導入しましたが、今後より一層、学校運営の基本方針や活動状況などを保護者や地域住民と共有してまいります。

学びをつなぐ学校づくりの実現

学校が保護者や地域住民の期待に応え、子どもたち一人ひとりの力を最大限に伸ばすためには、認定こども園・小学校・中学校・高等学校の各学校段階間の連携・接続を図りながら、管理職がリーダーシップを発揮して学校運営に当たるとともに、教職員がそれぞれの力を発揮できる環境づくりが重要です。このため、教員が子どもと向き合う時間の確保に向けて、学校における働き方改革を推進するための方策をさらに検討し取組を一層推進してまいります。

2社会教育

平成29年度から4年間を計画期間とする社会教育中期計画に基づき、各種の社会教育施策を推進してまいります。町民が生涯にわたって生きがいを持ち充実した生活を実現するために、それぞれのライフステージに応じた学習活動を行って自己実現を図ることが必要であり、その意味では社会教育の果たす役割は極めて重要であると考えます。近年、核家族化や少子化などの影響により、家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。このため、家庭教育に資する学習活動や子育てに関する支援事業の充実に努めてまいります。生涯学習の推進については、いつでも、どこでも、だれもが必要に応じて生涯学びあえる環境づくりを進める必要があることから、様々な学習機会の提供に努めてまいります。

少年教育

サタデースクール、放課後子ども教室、イングリッシュキャンプ、学習サポート塾の継続実施により自然や生活体験を重視した学習を行い、子どもたちの自立心や協調性、社会性などを養い、豊かな人間形成を図る学習機会の充実を図ってまいります。

青年教育

町づくりの更なる活性化を図るため、青年組織の主体的活動を支援するとともに、ボランティア活動や地域社会づくり等に参加するなど、若い力の町づくりへの積極的な参加を支援してまいります。

成人一般教育

学習ニーズに対応した多様な学習機会が必要であることから、生涯学習講座や研修会、出前講座などを開設し、様々な学習機会の提供に努めるとともに、各種団体や

サークル活動への支援を行ってまいります。

家庭教育

インターネットやスマートフォンの普及などの社会環境や共働き家庭の増加など家庭環境の変化により、子どもを取り巻く環境が大きく変化している中で新たな課題が発生しています。そのため、青少年健全育成協議会やＰＴＡ連合会などと合同で、教育を考える集いやインターネット安心講座などの学習機会の提供を行い、家庭教育の充実を図ってまいります。

女性教育

士幌町男女共同参画推進条例を制定して以来、基本計画に沿って関係機関等と連携協力して取り組み、女性団体の活動支援を行っています。引き続き、女性団体の主体的活動を支援し女性ライフスクールの開設、地区女性学級の支援を行ってまいります。

高齢者教育

柏樹学級の開設によりスポーツ・ボランティア活動や世代間交流活動を通して心身の健康増進に努め、生きがいのある生活が実現できるよう支援していくほか、豊かな経験を生かした学習活動や社会参加を推進してまいります。

芸術・文化

本町における文化活動は、文化協会加盟団体や各種サークルにより自主的な活動が活発に行われています。引き続き文化団体への活動支援や芸術鑑賞会、文化祭の開催を行ってまいります。

図書館

したしみ図書館については、生涯学習のための拠点として町民の読書要求と学習意欲に応えられる資料を収集・提供するとともに、広く町民に親しまれる図書館づくりに取り組んでまいります。また、子どもの読書活動を推進するため、小学校と連携した巡回図書や読み聞かせ等の活動を継続するとともに、ボランティアサークルの育成を図り、小学校などでの読み聞かせ活動等の更なる充実を図ってまいります。

スポーツ

健康や体力の維持・増進のほか、地域コミュニティ形成にも大きな役割を果たすものであり「町民一人一スポーツ」運動を推進してまいります。また、町民が個々の体力や健康状態に応じてスポーツに取り組めるよう初歩的なスポーツ教室や軽スポーツの普及促進に努めるほか、スポーツ推進委員や町体育連盟各競技団体と連携を図り各種競技大会を開催いたします。スポーツ少年団活動は、競技技術の向上に加えて、子どもたちの健全育成にも大きく寄与するものであり、指導者の養成や日常活動に対する支援に取り組んでまいります。

社会教育施設

複合施設である総合研修センターが平成６年に開設して以来、生涯学習の拠点施設としての役割を果たしております。今後も、いつでも・だれもが学ぶことができる施設として多くの町民の方々に利用していただけるよう利用者のニーズを的確に把握して、要望に十分応えられるよう施設・設備の維持・管理に努めてまいります。また、本町では、各地区公民館が地域コミュニティを形成する場として重要な役割を果たしており、地域住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に大きく寄与しています。公民館活動推進委員会への継続した支援を行うとともに、公民館施設は各地区の活動拠点であり災害時の避難場所に指定されていることから、施設・設備の適切な維持・管理を行ってまいります。その他、スポーツ施設についても、施設延命化のため、適切に維持・管理してまいります。

学童保育（放課後児童健全育成事業）

児童福祉法の規定に基づく放課後児童健全育成事業、いわゆる学童保育を町長から事務委任を受けて平成28年度から教育委員会で実施しております。小学校との連携を図り、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に適切な遊びおよび生活の場を提供してまいります。

Ⅲ　むすびに

教育委員会制度改革により、平成27年度から町長と教育委員会で総合教育会議を開催しておりますが、教育委員会といたしましては、これまで以上に町長と連携して士幌町教育大綱に掲げる「輝く未来へ　しほろ創生」の基本理念のもと、今後も次代を担う本町の子どもたちの心豊かな成長と、町民の皆様の活気と潤いに満ちた生涯学習社会の創造をめざし、学校・家庭・地域はもとより関係機関・関係団体等との連携を深めて、本町教育のより一層の充実・発展のため、全力で取り組んでまいります。

令和元年度
士幌町文化賞・スポーツ賞等受賞者のご紹介

士幌町の文化やスポーツの向上発展に関し特に顕著な功績をあげた文化・スポーツ賞の今年度の受賞者をご紹介します。（敬称略）

なお、本来であれば「みんなで教育を考える集い」にて表彰式を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防により中止となったため、本紙面のみのご紹介となりましたのでご了承ください。

ジュニア文化奨励賞

西潟　香花（士幌小学校1年）
第62回十勝子ども大会書写の部　特選

田中　英仁（士幌小学校3年）
北海道学び推進月間標語　十勝教育局優秀賞

伊賀　丈琉（佐倉小学校3年）
第62回十勝子ども大会工芸・彫刻の部　特選

仁和　奏音（佐倉小学校3年）
第46回JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール3年生の部　銅賞

成田　にこ（上居辺小学校4年）
第62回十勝子ども大会理科作品の部　金賞

原　珠希（士幌小学校6年）
令和元年度いじめ・ネットトラブル根絶！メッセージコンクールいじめの根絶部門標語小学校の部　十勝教育局最優秀賞

仁和　璃音（佐倉小学校6年）
第14回北海道小・中・高生短歌コンテスト　特別賞（北海道新聞社賞）

飯島　伽蓮（士幌町中央中学校1年）
第60回記念全十勝学校書道書初展覧会　準大賞

松村　沙音（士幌町中央中学校1年）
第62回十勝子ども大会デザインの部　特選

斉藤　ひまり（士幌町中央中学校2年）
第62回十勝子ども大会英語暗唱の部2年生の部　最優秀賞

竹迫　小春（士幌町中央中学校2年）
第62回十勝子ども大会工芸・彫刻の部　特選

青木　羅菜（士幌町中央中学校3年）
第62回十勝子ども大会版画の部特選／「道民家庭の日」絵画コンクール2019　優秀賞（北海道教育委員会教育長賞）

高橋　美生（士幌町中央中学校3年）
第62回十勝子ども大会英語暗唱の部3年生の部　最優秀賞

藤井　咲羽（士幌町中央中学校3年）
第62回十勝子ども大会デザインの部　特選／令和元年度むし歯予防デーポスターコンクール十勝教育局長賞（金賞）

佐倉小学校3・4年生（伊賀丈琉・塩谷圭梧・嘉藤洵也・髙橋ひより・仁和奏音・山田悠人）
第24回全十勝小・中学校かべ新聞コンクール小学校3年生の部　優秀賞

ジュニアスポーツ賞

上野　結菜（士幌小学校5年）
第5回全日本ノービススピードスケート競技会小学生4年女子500m　第5位

奥秋　静子
（士幌小学校６年）
第５回全日本ノービススピードスケート競技会小学生５年女子１０００ｍ　第１位・小学生５年女子５００ｍ　第２位

奥秋　智佳
（士幌町中央中学校２年）
第40回全国中学校スケート大会女子３０００ｍ　第５位・女子１５００ｍ　第５位／第50回北海道中学校スケート大会女子１５００ｍ　第１位・女子３０００ｍ　第２位

國井　麻耶
（士幌町中央中学校２年）
第11回全道Ｕ―15女子フットサル大会兼ＪＦＡ第10回全日本Ｕ―15女子フットサル選手権大会北海道代表決定戦　優勝／ＪＦＡ第10回全日本Ｕ―15女子フットサル選手権大会　準優勝

高橋　美生
（士幌町中央中学校３年）
第40回全国中学校スケート大会女子１５００ｍ　第４位・女子３０００ｍ　第６位

士幌町中央中学校スピードスケート女子チーム（高橋美生・奥秋智佳・中島帆乃華・塩谷明里・鈴木咲凪）
第40回全国中学校スケート大会スピードスケート女子団体　第１位／第50回北海道中学校スケート大会学校対抗女子　第１位・中学女子２０００ｍリレー　第１位

ジュニアスポーツ奨励賞

鈴木　凱大
（士幌小学校２年）
第59回全十勝小中学校選抜スピードスケート選手権大会小学２年生男子　総合第１位

中川　琴葉
（中士幌小学校２年）
第66回全十勝児童スケート選手権大会２年女子　総合第１位

大野　隆晴
（上居辺小学校２年）
第42回全十勝スポーツ少年団スピードスケート交歓大会２年男子　総合第１位／第66回全十勝児童スケート選手権大会２年男子　総合第２位／第59回全十勝小中学校選抜スピードスケート選手権大会小学２年男子　総合第２位

野口　夏帆
（士幌小学校３年）
第42回全十勝スポーツ少年団スピードスケート交歓大会３年女子　総合第１位／第66回全十勝児童スケート選手権大会３年女子　総合第２位／第39回全十勝ミニスプリント選手権大会３年女子　総合第２位

小野寺　仁菜
（上居辺小学校３年）
春季サーキット陸上競技大会第３戦３年女子８００ｍ　第１位／第37回北海道小学生陸上競技大会帯広会場３年女子８００ｍ　第２位・３年女子ジャベリックボール投　第２位／第66回全十勝児童スケート選手権大会３年女子　総合第１位／第42回全十勝スポーツ少年団スピードスケート交歓大会３年女子　総合第２位／第59回全十勝小中学校選抜スピードスケート選手権大会小学３年女子　総合第２位

富田　凛
（士幌小学校４年）
第39回全十勝ミニスプリント選手権大会４年女子　総合第２位／第42回全十勝スポーツ少年団スピードスケート交歓大会４年女子　総合第２位

坂本　頼武
（士幌町中央中学校１年）
第26回北海道中学校新人陸上競技大会中学男子走高跳　第４位／第38回全十勝中学校対抗陸上競技大会１年男子１００ｍ　第１位／中学男子走高跳　第２位／第37回全十勝中学校新人陸上競技大会中学男子走高跳　第１位・中学男子走幅跳　第１位

鈴木　咲凪
（士幌町中央中学校１年）
第37回全十勝中学校新人陸上競技大会中学女子８００ｍ　第２位

今泉　空那
（士幌町中央中学校２年）
第22回全十勝中学校秋季剣道大会女子個人　優勝

福田　帆乃果
（士幌町中央中学校２年）
第22回全十勝中学校秋季剣道大

会女子個人　準優勝

澤村　愛花
（士幌町中央中学校3年）
第38回全十勝中学校対抗陸上競技大会3年女子100m　第2位／第65回全日本中学校通信陸上競技大会十勝大会3年女子100m　第2位

杉本　皐輔
（士幌町中央中学校3年）
全十勝中学校夏季柔道大会男子個人戦90kg超級　準優勝

福田　哲稀
（士幌町中央中学校3年）
第32回南部忠平記念陸上競技大会中学男子400mリレー　第4位／第50回北海道中学校陸上競技大会男子200m　第5位・男子100m　第6位

士幌サッカー少年団（鈴木琉偉・森本真吏・牧野あおい・山根大弥・成瀬幌・土橋慶仁・柴田錬・市田蒼葉・斉藤叶大・西潟孝司・鎌田琉生・浅野蒼士郎・鳴海琥士朗・嘉藤龍の輔）
全道フットサル選手権大会2019U―12の部十勝地区予選Cブロック　準優勝

士幌ボーイズ（篠原世凪・瀬口逸騎・石田悠真・井尾光）
第25回とかちっこミニバレー大会小学生高学年の部　優勝

さくらトライ（嘉藤龍の輔・仁和璃音・塩谷耕平・和田千明・山田悠人）
第25回とかちっこミニバレー大会小学生高学年の部　準優勝

五等分の男達（遠藤英雄・福田哲稀・松川大吾・鈴木聖也・宮崎泰誠・篠原令穏）
第25回とかちっこミニバレー大会中学生の部　優勝

士幌町中央中学校男子サッカー部（樋口陸・髙橋亮太・三井耕史郎・三島龍星）
令和元年度全十勝中学校体育大会秋季サッカー大会　準優勝

士幌町中央中学校剣道女子団体（今泉空那・福田帆乃果）
第22回全十勝中学校秋季剣道大会女子団体　準優勝

文化賞

北海道士幌高等学校環境専攻班（大河内駿・平井昴斗・白木慎也・髙橋仁・中田大貴・中原蓮・沼田竜良・梅木愛梨・廣瀬光・宮島颯斗）
GreenBlueEducationForumコンクールB部門（U―18）環境大臣賞・最優秀賞

北海道士幌高等学校乳加工専攻班（福田あみ・髙木玲奈・高橋広大・成田樹・山本実早紀）
第71回全道実績発表大会プロジェクト発表分野Ⅲ類（ヒューマンサービス）最優秀賞

文化奨励賞

小川　菜月
（北海道士幌高等学校3年）
第39回全道意見発表大会分野Ⅰ類（生産・流通・経営）　優秀賞

福田　あみ
（北海道士幌高等学校3年）
第39回全道意見発表大会分野Ⅲ類（ヒューマンサービス）　優秀賞

北海道士幌高等学校農業クラブ執行部（小濵知佐・阿部優月・髙石優花・畠野麗桜・熊谷ほのか）
第71回全道実績発表大会クラブ活動発表　優秀賞／第68回東北海道学校農業クラブ連盟実績発表大会クラブ活動発表　優秀賞

スポーツ奨励賞

杉本　侑紀
（帯広農業高等学校2年）
第42回全国高等学校柔道選手権大会十勝支部大会女子個人戦重量級　優勝

士幌町剣道連盟（村上真也・廣田将明・高橋大輔）
第63回東北海道剣道帯広大会団体戦男子四段以下の部　優勝

副町長就任のごあいさつ

副町長
髙木　康弘

柴田副町長が任期途中の3月末で退任することとなり、不肖私が小林町長のご推挙と町議会のご同意を得て、4月から副町長としてその重責を担うこととなりました。

その職責の重さにあらためて身の引き締まる思いをいたしているところでございます。

もとより浅学非才の身で全くその器ではございませんが、町民の皆様のご指導とご協力を賜り、町長の補佐役として与えられた職責を全力で取り組む所存でございます。

地方においては、超少子・高齢化による人口構造の変化、働き手不足、医療・介護の問題、自然災害の多発など、町を取り巻く環境が大きく変化する中にあって、産業経済、町民生活と何れの分野においても厳しさ、多様さが増しています。時代のニーズを踏まえつつ、戦略的な視点を持った地域づくりを進めなければなりませんが、近年の本町の財政運営は非常に厳しい状況にあり、一方で健全な財政運営が求められています。

小林町政が目指す、地域の人・産業・資源を活かした「活力のある町」と、町民誰もが安心・安全、生きがいを実感できる「豊かな町」の実現に向けて、微力ではありますが、全力を尽くしていく覚悟でございます。

皆様方のご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げ、就任のご挨拶とします。

副町長退任のごあいさつ

前副町長
柴田　敏之

私こと、3月31日をもって、3期目の任期の途中ではありますが、私事都合により辞任をさせていただきました。

昭和51年に役場に奉職以来43年余の士幌町の職員として、当時の厚生課を振り出しに、税務課、企画課や病院等に勤務させていただきました。特に、平成22年12月からは、小林町長の下で副町長を2期と3期目の1年余りの約9年の間、町民皆様の格別なるご指導をいただきながら、町づくりに参画させていただきましたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

近年は国や地方を取り巻く状況変化のスピードは益々増しており、町づくりに対する住民要望も多種多様化してきております。また、異常気象による集中豪雨や台風等による災害も多発しており、住民の命と財産をいかに守っていくかも重要な課題であります。特に超少子高齢化と人口減少は喫緊の課題であり、地方を活性化し創生していくことが期待されております。今後益々財政運営も厳しい状況となることが予測されますが、限られた予算の中で住民のニーズを見極めながら、小林町政が進める「安心・安全と生きがいを実感できる町づくり」、「活力ある豊かな町」を目指すために、私も町民の1人として少しでもお手伝いをさせていただきたいと思います。

来年は、開町100年を迎えます。次世代に向け、希望と輝かしい未来に更なる飛躍のため、町民皆様のご活躍と士幌町の発展を御祈念申し上げ、退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

男女共同参画社会の実現を目指して
第14回女性サミット

2月13日、コミュニティセンターにて、14回目となる女性サミットが開かれました。例年、実行委員会が中心となって開催している女性サミットですが、今回は「〝2020〟女性にできるあたらしい町づくり」をテーマに5つのグループに分かれてワークショップを行いました。様々な意見や質問、提案が飛び交い、盛況の内に終了しました。今回の女性サミットにおいて出された意見等について、主な内容と町の回答をお知らせします。

◆国保病院の薬の処方について

問 現在、国保病院で子どもの診療をしてくれますが、薬が錠剤で出されるため、子どもが飲みやすい粉薬やシロップなどの子ども向けの薬の対応をしてほしいです。

答 錠剤で出している薬が粉薬やシロップで出すことが可能かどうかも含めて、医師や調剤薬局とも協議します。

◆病児保育について

問 病児保育の助成制度やファミリーサポートシステムを知らない人がいるので、もっと周知したほうが良いと思います。

答 病児保育は利用した方の申請により、町から5千円を助成しています。今後ともPR方法などを検討し、制度が広く知れ渡るよう努力します。また、ファミリーサポートシステムも同様に役場だよりの掲載の充実など、様々な方法でより周知を図ります。

◆企業誘致について

問 高齢者が増えていく中で、労働人口が減少し、その分の税収も減っていきます。そうした状況も踏まえると企業誘致を推進していくことが必要ではないでしょうか。企業が入れば地域の人の働く場所が増えていくと思います。

答 企業誘致については現在模索中であります。士幌町で事業を実施したいという事業者の方がいたら、ぜひ紹介をお願いします。

◆士幌町の観光について

問 観光地というイメージがあまりない士幌町ですが、下居辺には温泉があり川もきれいで、パークゴルフ場もあります。廃校となった下居辺小学校を合宿所にしたり、ボルダリング場にしたりして、家族で楽しめる場所にするなど町にある施設を利用して、多くの人に士幌に来てもらうための工夫が必要だと思います。

答 集客やPR方法など、道の駅ピア21しほろを核としてそれぞれ事業展開を進めてきたところで、これまで多くの方々に来場していただいておりますが、ご指摘のとおり、今後とも道の駅を中心にPR活動を続けていきたいと考えております。

◆士幌町内の求人情報について

問 士幌町内の求人情報を役場か商工会が一括して、役場だよりなどに載せてもらえないでしょうか。

答 平成30年度より士幌町雇用対策連絡調整協議会が運営主体となり「士幌町無料職業紹介所」を開設し、町ホームページにサイト「士幌町で働こう」を作って町内事業者の求人情報を掲載しています。また、町ホームページには随時「町内のハローワーク求人情報」を掲載して、最新の求人情報をどなたでも閲覧できるようになっています。さらに、コミュニティセンターロビーには、ハローワーク帯広の雇用情報コーナーがありますので、ぜひ活用してください。

◆道の駅の遊具などの整備について

問 道の駅に子どもたちが遊べる遊具やドッグランがあると良いと思います。

答 現在、道の駅西側のチャレンジブーススペースを活用して、遊具やドッグランなどの設置を検討しています。

◆子どもの冬でも遊べる場所について

問 子どもたちが冬でも遊べる室内の場所を作ってほしいです。

答 冬期の遊び場は、子育て支援計画のアンケートの中でも様々なご意見をいただいています。現状、タウンプラザや総合研修センターとなりますが、今後、認定こども園の建て替えを検討していく中で、休日の遊戯室の一部開放などの対応を検討していきます。

◆子どもの見守りについて

問 学校には防犯カメラが設置され、子どもたちは防犯ブザーを持っていますが、防犯ブザーを鳴らしても周囲には人がおらず、助けてくれる人がいません。子どもたちには危険を感じた時は学校に戻るか、急いで家に帰るよう教えていますが、地域の皆さんが子どもたちを守る活動が必要ではないでしょうか。

答 市街地に防犯カメラを10基と町内協力事業者による子ども１１０番の家を設置しています。中士幌地区では地域で見守り隊を結成し、子どもたちの登下校の見守りを実施しているところです。町・事業者のみならず地域の協力によって、子どもたちを取り巻く環境をより安全にしていくことが求められており、今後とも地域の皆様のご協力をよろしくお願いします。

◆分譲住宅の土地について

問 若い子育て世代は家と駐車できるスペースがあれば充分なため、士幌町で販売している土地をもう少し小さい規模で提供してほしいです。

答 若い人から分譲住宅の土地は60坪もあればいいという声もあり、徐々に土地の面積を小さくしているところです。今後ともニーズに合った土地を提供できるよう検討していきます。

その他にも、たくさんの意見や提案が出されていました。参加いただいた皆様大変ありがとうございました。いただいた意見や提案については検討し、町政に反映できるよう努めてまいります。

茶の間 まちの動き

全国大会7年ぶり3度目の優勝！

～士幌町中央中～

2月1～4日に長野県にて開催された第40回全国中学校スケート大会のスピードスケート競技に出場した士幌町中央中学校生徒が2月13日、小林町長を表敬訪問しました。出場した生徒は3年の高橋美生さん、中島涼太さん、2年の奥秋智佳さん、河村燿世さん、中島帆乃華さん、1年の小野寺昴さん、坂本頼武さん、塩谷明里さん、鈴木咲凪さんの9名でこの日は8名が訪れました。

大会の結果は女子1500mで高橋さんが4位、奥秋さんが5位、さらに女子3000mで奥秋さんが5位、高橋さんが6位に入賞。そして、学校対抗の女子で7年ぶり3度目の優勝に輝きました！この日、大きな優勝カップやトロフィーなどを持って町長応接室を訪れ、満面の笑顔で結果を報告しました。小林町長は「おめでとう！」と出迎え、自身のフェイスブックに掲載したいと一緒に写真を撮りました。

士幌町教育委員会では生徒の活躍を称え、士幌町総合研修センターに祝福の横断幕を掲げ、ロビーにて優勝カップやトロフィーなどが展示されました。

※出場した生徒の結果は、次のとおりです。（敬称略）

●高橋美生（前列左）	1500m4位 ·3000m6位
●奥秋智佳（前列左から2番目）	1500m5位 ·3000m5位
●中島帆乃華（前列中央）	500m ·1000m予選敗退
●塩谷明里（前列右から2番目）	500m予選敗退
●鈴木咲凪（前列右）	1000m予選敗退
●中島涼太（後列中央）	3000m18位
●河村燿世（後列左）	1000m22位 ·1500m予選敗退
●小野寺昴（後列右）	3000m予選敗退
●坂本頼武	500m ·1000m予選敗退

もどき料理教室
～生活習慣病予防に～

2月6日、町民保健センターにて、特定健診を受けられた方などを対象とした調理実習が行われ、12名が参加しました。「『もどき料理』でおいしく・ヘルシーに！」をテーマに、しらたきを入れた「かくれんぼご飯」、豆腐を肉で巻いた「肉もどき酢豚」、裏返した油揚げにコロッケの具を入れて焼いた「コロッケもどき」など、もどき食材でカロリーを抑えながらも味も量も満足する計5品を調理しました。参加者からは「ヘルシーなのにおいしい」「家でも試してみたい」と大好評でした。食後は血管年齢測定や野菜摂取量測定のミニ健康チェックを行い、管理栄養士や保健師が生活習慣病を予防するための改善点などを助言し終了しました。

中士幌公民館まつり
～日頃の成果を披露～

2月9日、中士幌公民館（吉田静二公民館推進委員長）にて、中士幌公民館まつりが開催され、地域住民約120名が集まりました。まつりは住民の学びや趣味などの発表する機会や住民同士の交流を目的に、芸術発表会と作品展示が行われました。ロビーには2団体11個人の書道やパッチワーク、編み物などの作品が展示されました。ホールでは中士幌保育園の園児によるキッズダンスや中士幌小学校5・6年生の児童によるよさこいソーラン、中士幌民謡会、三味線同好会など、子どもからお年寄りまで様々な団体や個人が日頃の練習の成果を披露しました。

町がイキイキ まちかどマンダル 人がキラキラ

お楽しみ昼食会
～みんなで楽しく盆踊り～

2月14日、総合研修センターにて、士幌町社会福祉協議会（鎌田弘美会長）主催の一人暮らしの65歳以上の町民を招いたお楽しみ昼食会が開かれ、32名が参加しました。昼食会は年4回予定しており、今年度最後のこの日は、商工会女性部（末永美津代部長）が担当。12名で赤飯、みそおでん、酢の物やお味噌汁とミカンが振る舞われました。食後には、同部恒例の盆踊りをみんなで踊って楽しみました。

子育て講演会
～福祉村まつり～

2月15日、総合福祉センターにて、第2回福祉村まつりが開催されました。乳幼児の子育て相談、昔の遊びコーナー、手作りおやつの試食などのほか、札幌大学女子短期大学部こども学科の前野紀恵子教授の「子どもを伸ばす乳幼児期の家庭でのかかわり方」と題した子育て講演会が行われました。講演会には約20名が参加。前野教授は脳の発達に沿った子育てに注目し「早寝・早起き・朝ごはん」が最優先と強調し、からだを育てる基本動作、ことばを育てる声かけの方法、こころを育てる効果的なほめ方や叱り方のポイントをわかりやすく説明しました。最後に体が元気になる10カ条を薦め「ぜひ親子で取り組んで」と呼び掛けていました。

◆下の句かるた大会◆

2月16日、総合研修センターにて、実行委員会(矢坂賢哉実行委員長)主催の第23回士幌町下の句かるた大会が開催され、小学生から大人まで16チーム50名が出場しました。開会式では矢坂実行委員長が「親睦と交流が目的だが、真剣勝負も下の句かるたの魅力。集中力や判断力を駆使して、好成績を収めてほしい」とあいさつしました。今年も全日本下の句歌留多協会音更支部鳳倶楽部(島田一敏会長)が読み手を担当。小学生の部はA・B級、一般の部はA～C級に分かれリーグ戦が行われ、真剣勝負が繰り広げられました。

結果は次のとおりです。

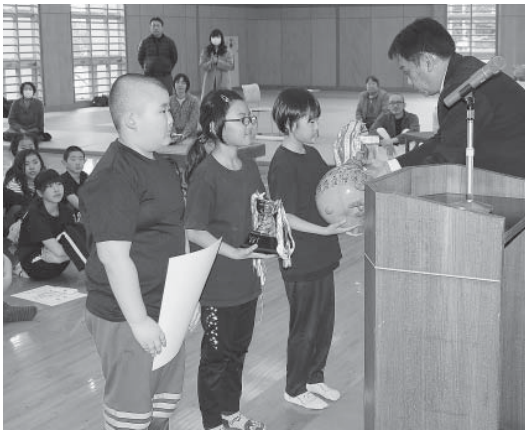
●一般の部A級
優　勝　佐倉の未来
準優勝　士幌選抜A
第3位　佐倉のあはれ

●一般の部B級
優　勝　佐倉の月
準優勝　士幌選抜B
第3位　佐倉の仲間

●一般の部C級
優　勝　佐倉のもみじ
準優勝　佐倉母の部
第3位　佐倉のさくら

●小学生の部A級
優　勝　玲瓏
準優勝　REIROUクラブ
第3位　佐倉の星

●小学生の部B級
優　勝　大黒天
準優勝　れいろうキッズ



えほん が かるた
～したしみ図書館～

2月16日、総合研修センターにて、図書館の絵本をかるたの取り札にして遊ぶ「えほん が かるた」が開かれ、幼児4名が参加しました。ルールは50音の「あ～わ」から始まる題名の絵本をかるたの取り札に見立て行うだけで、普通のいろはかるたと同様。読み札が読まれると子どもたちは勢いよく絵本(取り札)を取りに向かい、はしゃいで元気に遊びました。終了後には子どもたち全員に手作りのメダルと賞状が手渡され、嬉しそうに受け取っていました。

道産業貢献賞を受賞
～南団地 塚越 毅さん～

2月14日、札幌市で行われた北海道知事表彰式において、南団地の塚越毅さんが、北海道産業貢献賞(農業指導等功労者)を受賞されました。塚越さんは2月17日、役場を訪れ小林町長に受賞を報告しました。塚越さんは昭和55年から獣医師としてJA士幌町に勤務し、平成16年から畜産部次長、平成18年から畜産部長を歴任されるなど、本町の家畜診療業務を中心に従事。長年にわたり家畜診療業務に従事されるとともに家畜衛生思想の普及、家畜防疫体制の整備等に尽力され、北海道の農業振興に寄与されたとして、その功績が認められ受賞となりました。

子ども・子育て会議
～第2期子ども・子育て計画を答申～

2月25日、役場庁舎にて、第4回子ども・子育て会議（松浪浩之会長）が行われ、第2期士幌町子ども・子育て支援事業計画（令和2～6年度）を小林町長へ答申しました。

計画は「子どもたちが健やかに成長することのできるまち」「人に子育てにやさしいまち」「社会全体、地域で子育てを支援するまち」の3つの基本理念を柱にそれらを実現するため、総合的に施策を推進します。答申では基本理念の実現に向け、計画が着実に推進されることに加え、認定こども園の改築に早期に着手されることを要望しました。松浪会長は最後に「町は、委員の意見をしっかり受け止めて、計画が着実に実行されることを願う」と話しました。

行政相談出前教室
～士幌高校～

2月27日、士幌高校にて、総務省北海道管区行政評価局釧路行政監視行政相談センター職員3名と士幌町行政相談委員の庄司光恵委員が来校し、行政相談出前教室が開かれました。2年生57名に向けて同センターの川本玄委員係長が日頃の生活と行政の関わりや行政相談の仕組みなどを説明。庄司委員は士幌町で実際にあった相談や改善事例を紹介しました。生徒は行政体験として「視力の弱い方が駅の階段の段差がわかりにくい」という相談を基にグループワークを行い、解決方法を話し合いました。同センターの角佳典所長は「困ったことがあったら、ぜひ行政相談制度を活用してほしい」と呼びかけました。

士幌町公式フェイスブック

広報紙では紹介しきれない話題やイベント情報などを発信しています。ぜひ、ご覧ください♪

いいね♪

facebook

https://www.facebook.com/shihorotown

←携帯電話のＱＲコードリーダーで読み取ることができます。

【退任のご挨拶】　～１年間ありがとうございました♪～

地域おこし協力隊員だより

士幌町で自然に癒やされ、農園を楽しみ、充実した日々を過ごすことができました。

協力隊としての自分のあり方を模索しておりましたが、行く先々で温かく受け入れていただき、この仕事だからこそ生まれた出会いにとても感謝しております。

皆様と共有できた時間は、名古屋に帰ってからも大切な思い出です。短い間でしたが、お世話になりました。

鈴木　美里

60歳以上のドライバーの皆さん 運転免許証を自主返納すると バス運賃が半額になります！！

近年、交通事故に占める高齢者の割合が増加し、高齢運転者が当事者となる交通事故が増えています。運転に不安を感じながらも「生活の足が確保できない」という理由で運転を続けている方も多いのでは？そこで十勝バスと拓殖バスでは、北海道警察本部等からの協力要請を受け、運転免許の取り消しを申請して運転経歴証明書の交付を受けた方を対象に、バス利用の優遇制度を実施しています。

バス運賃支払時に運転経歴証明書を提示すると運賃が半額

【適用路線】　十勝バス・拓殖バス全路線（十勝管内）
※都市間バス・空港連絡バス・空港バス・定期観光バス・イベントバスを除く

【運　　賃】　通常運賃の半額（支払いは現金のみ）

【適用条件】　60歳以上で運転経歴証明書を所持している方

【お問い合わせ】　十勝バス　電話０１５５－２３－５１７１
拓殖バス　電話０１５５－２６－３６３６

◆運転経歴証明書は、運転免許証と同じサイズで携帯にも便利◆

《交 付 場 所》　帯広運転免許試験場（帯広市西19条北2丁目１）
《手 続 日 時》　月～金曜日（祝日・年末年始を除く）
即日交付　8:45～12:00、13:00～15:00
後日交付　15:00～16:30
《必 要 な も の》　交付手数料1,100円、運転免許証、印鑑
《お問い合わせ》　帯広運転免許試験場
電話0155－33－2470

3月議会で可決された主な案件

3月6日から12日まで令和2年第1回定例町議会が開催されました。条例改正や予算などの議案について審議し、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

○十勝管内自治体病院医薬品等共同購入協議会を組織する町数の減少および十勝管内自治体病院医薬品等共同購入協議会規約の変更について

十勝管内自治体病院医薬品等共同購入協議会から広尾町が脱退することに伴い、議決を求めるもの

○定住自立圏形成協定の変更について

定住自立圏の形成に関する協定書の一部変更に伴い、議決を求めるもの

○監査委員の選任

佐藤　宣光氏

○固定資産評価審査委員会委員の選任

山田　英寿氏

○人権擁護委員の推薦

山中　雅弘氏

○指定管理者の指定

士幌町民プール

㈱オカモト

○副町長の選任

任期　令和2年4月1日～令和6年3月31日

髙木　康弘氏

○士幌町職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例

会計年度任用職員制度に伴い、条例を改正するもの

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

医師の宿日直手当の支給額の改定に伴い、条例を改正するもの

○特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例

医師研究研修手当の支給額を定めるため、条例を改正するもの

○士幌町監査委員条例および士幌町国民健康保険病院事業条例の一部を改正する条例

地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例を改正するもの

○士幌町手数料徴収条例および士幌町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正に伴い、条例を改正するもの

○士幌町特定公共賃貸住宅管理条例等の一部を改正する条例

民法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴い、町営住宅関係の各管理条例の連帯保証人の保証極度額を定めるため、条例を改正するもの

○士幌町農地利用集積円滑化事業基金条例の一部を改正する条例

農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、条例を改正するもの

○士幌町立学校設置条例の一部を改正する条例

士幌町立高等学校の名称および位置を改正するため、条例を改正するもの

○士幌高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例

士幌町立高等学校の振興策として入学検定料を廃止し、証明書交付手数料を新たに規定するため、条例を改正するもの

○損害賠償の決定および和解

令和2年1月30日に発生した除雪作業中の物損事故の損害賠償額を決定し、和解するもの

○令和元年度補正予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、簡易水道事業特別会計予算、公共下水道事業特別会計、国民健康保険病院事業会計

○令和2年度予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計予算、後期高齢者医療事業特別会計予算、介護保険事業特別会計予算、介護サービス事業特別会計予算、簡易水道事業特別会計予算、公共下水道事業特別会計予算、国民健康保険病院事業会計予算

退職者（管理職）のご挨拶

前総務企画課
課長 石垣 好典

この度、長い間お世話になりました士幌町役場を3月末日をもちまして退職いたしました。

昭和60年4月に総務課に奉職以来、35年間にわたり様々な部署で勤務して参りました。この間、多くの町民の皆様をはじめ、先輩、同僚の方々からご指導ご協力を賜り、何とかその職責を勤め終えることができました。改めまして、心より感謝とお礼を申し上げます。

今後は、在職中に皆様方から賜りました教訓を生かし、次の人生を過ごして参りたいと思います。

最後になりますが、士幌町の益々の発展と皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、退職のあいさつとさせていただきます。

前保健福祉課
課長 堀江 菜穂子

この度、3月末日をもちまして町職員を退職いたしました。

平成2年の奉職以来、総務課、企画課、保健福祉課と30年間にわたり3つの部署で勤務してまいりました。この間、多くの町民の皆様、関係機関の皆様はじめ、先輩、同僚からの温かいご指導ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

今後は、在職中に賜りました教訓を糧に、次の人生を実り多きものにできるよう精進してまいりたいと思います。

結びに、これからの士幌町の益々の発展と皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。

前産業振興課
（十勝 NOSAI 派遣）
主幹 中原 淑雄

この度、3月末日をもって町職員を定年退職いたしました。

昭和58年に奉職した頃は現庁舎も真新しかったことが懐かしく思い出されます。

私は、民生課を皮切りに37年間地域行政の一端を担わせていただきましたが、図らずも長年の懸案とされてきた「農業共済事業」の組織再編に携わることとなり、農業者の方々のみならず関係機関各位の深遠なご理解と多大なるご協力、そして職場の上司、同僚、部下の皆さんの支えにより大きな支障もなく円滑に移行できましたこと、ここに改めて御礼申し上げます。農業を柱とする士幌町が益々発展するよう、これからも農業共済が重要な支えとなることを願い、退職にあたってのご挨拶といたします。

前教育委員会事務局
参事 玉堀 泰正

この度、3月末日をもちまして退職いたしました。

平成27年4月より任期付き職員として5年間勤務させていただきました。この間、多くの町民の皆様からご指導を賜り、ここに心より感謝とお礼を申し上げます。

今後は、在職中に賜りました教示を胸に、次代を担う子どもたちのために次の人生を過ごして参りたいと思います。

結びに、皆様のご健勝とご活躍、士幌町の益々のご発展をお祈り申し上げ、退職のあいさつとさせていただきます。

町民皆様のご指導とご支援を心から感謝申し上げます

健康・イキイキ・ライフ

新型コロナウイルス感染症に備えて

～一人ひとりができる対策～

健康介護グループ　佐藤　敦子

新型コロナウイルスの感染が広がっており、様々な事業で延期・中止・時間短縮等の措置がとられ普段の生活全体に影響を及ぼしています。感染を広げない、終息させるためにどのようなことを心がければ良いのでしょうか。

◆コロナウイルスとは？　コロナウイルスは７種類見つかっており、その中の１つが最近問題の「新型コロナウイルス」、そのうち２つが以前問題となった「ＳＡＲＳ」や「ＭＡＲＳ」、他の４つが一般の風邪の原因となるウイルスで、多くは軽症です。ウイルスは、アルコール消毒液や薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で感染力は失うとされています。よく触れる場所を薄めた家庭用塩素系漂白剤で拭き掃除をすると効果的です。

◆どうやって感染するの？　①飛沫感染　　②接触感染（ドアノブ、手すり等）

◆一人ひとりができる感染症対策

①**手洗い**：ドアノブなどの様々な物に触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先から帰った後、調理の前後、食事前などは、こまめに石けんで手を洗いましょう。

②**普段の健康管理**：十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけ、適度な湿度を保つようにしましょう。

③**咳エチケット**：咳やくしゃみが出るときは、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側で口や鼻を覆いましょう。

④**外出するときの注意事項**：人と人との接触を避ける行動をとれば、感染者の発生は減少するとされていますが、外出する時は次の点を確認しましょう。

・体調は大丈夫？風邪気味ではありませんか？（軽症の時に気づかずに感染を拡大することも）
・外出先は大勢の人が集まったり、換気の悪かったりする場所ではありませんか？（人と人が至近距離で一定時間以上交わることによって、感染するとされています）
・外出先の会話は一定の距離（手を伸ばして相手に届かない程度の距離）をとって、感染リスクを下げるように心がけましょう。

⑤**病院のかかり方**：発熱などの風邪症状は新型コロナウイルス以外の病気も考えられます。まずは、かかりつけ医に相談してください。しかし、新型コロナウイルスの感染が心配な場合は、次の症状等を目安に保健所に相談しましょう。（帯広保健所　電話０１５５－２６－９０８４）

・37.5℃以上の発熱が４日以上続く（解熱剤の服用を続けている）場合
・強いだるさや息苦しさの症状があり、高齢者や基礎疾患で治療を続けている方
・風邪の症状に加え37.5℃以上の発熱と強いだるさ、息苦しさがある場合

一人ひとりの心がけが感染拡大を防ぎます。感染が広がらないようご協力をお願いします。

●担当　総合福祉センター内　保健福祉課健康介護グループ　電話５－２１０８・５－２１８８

こどもだより

「いい親８カ条」

認定こども園長　**山中　明裕**

いい親８カ条

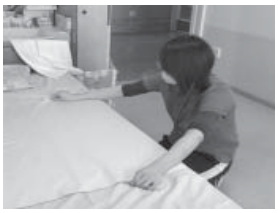
自分の価値観を押し付けず
あまり期待しすぎず
ほどよい距離感を保ち
いいときも悪いときも優しく見守り
ときには厳しく叱って
どんなときでも話を聞いて
誰よりも可能性を信じて
誰よりも幸せを願って味方でいる
最初から完璧な人はいなくて
思うようにいかないことも多くて
子どもと共に成長して親となっていく

「這えば立て立てば歩めの親心」ということわざがあります。赤ん坊が這いはじめれば早く立たないかと思い、立てば早く歩かないかと期待する。子どもの成長を望む親の心情をいったものです。親はつい子どもに期待してしまいますが、子どもに余計なプレッシャーを感じさせないことも重要です。「いい親８カ条」の言葉はまさに「そのとおり」で、自分の子育てを振り返ってみても中々出来なかったように思います。つい考えを押しつけたり、努力を強要しすぎたりすることも。最後の「子どもと共に成長して親となっていく」は、全てのお父さんお母さんがそうなのです。初めから完璧な親はいません。試行錯誤の連続ですね。

連絡先　認定こども園なかよし　子ども課　電話５－２３６４　（相談専用）５－２５０２

特養だより

「施設と介護員の仕事をご紹介します」



特別養護老人ホームほほえみは、安全性と快適性に優れた体に優しいバリアフリー構造で、プライバシーにも配慮したゆとりのある居住空間となっています。食事は食堂で、旬の食材を生かした季節の料理を提供しています。また、介護、看護スタッフが連携し24時間365日対応。病気などの体調不良の際は、協力医療機関への受診につなげています。介護員は、昼夜巡回、排泄、入浴(機械、個浴)、更衣等の介助や機能訓練の援助。生活面ではシーツ交換、居室の清掃、季節の衣類の準備や繕い物などを行っています。また、カラオケや映画鑑賞などのレクリエーション、季節折々のイベントなどを介護員が企画し開催しています。入所している方は地域の方が多いため入居者同士が昔なじみだったり、スタッフも地元出身が多く顔見知りだったりして、和やかな雰囲気で一日の時間が流れます。地元の話題や共通の話しをすることで、安心して安定した生活につながっています。私たち介護員は「共に歩く」と言う言葉を忘れず、その人らしく毎日を過ごしていただけるようスタッフ一丸となって日々努力しています。

連絡先　特別養護老人ホームほほえみ　電話５－２４１６

高齢者とくすり

士幌町国民健康保険病院薬局長　飯田　秀樹

年齢を重ねると服用する薬の量や種類が多くなる傾向があるため、注意しなければならないことも増えます。今回は、お薬を正しく理解し服用していただくためのお話しをします。

1　薬が効く仕組み

薬を飲むと体内に吸収(胃で溶けて小腸で吸収)され、分布(血液で運ばれ患部に到達)します。薬が効果を発揮した後は、代謝(肝臓で分解)し排泄(尿や便など)されて、体内から消失します。

2　効果が現れる薬の量

薬の用法・用量は、薬の血中濃度を一定に保ち、薬の有用性を最大限に高めつつ副作用のリスクを最小限にするように決められています。

飲み忘れたり飲む量を減らしたりすると、効果が出にくくなる可能性があります。反対に飲む量を勝手に増やしたりすると、重篤な副作用が現れることもありますので、決められた用法・用量を守ることが大切です。

3　薬の副作用

薬は、患部だけに効果を発揮してくれれば良いのですが、患部以外にも働いて期待した効き目以外の作用が現れたり、年齢や体調などで期待した効き目より強く作用してしまったりするのが「副作用」です。

副作用の要因は、

・期待した効き目以外の作用が現れる →　薬自体の要因
・服用時間や量を間違える、他の薬との飲み合わせなど　→　使用上の要因
・年齢、性別、体調、体質、生活習慣や嗜好品の影響など　→　患者さん自身の要因

などが考えられます。

＜加齢による体の変化の主な説明＞

加齢により、肝臓が薬を分解する力や腎臓が薬を排出する力などの能力が低下すると、薬の排泄に時間がかかって薬が体内にとどまるため、副作用が起こりやすくなります。

副作用は、薬を使用したら必ず現れるというものではありません。また、薬の説明に記載されている副作用も必ず出るものではなく、出る可能性があると考えることが大切です。副作用を恐れて、必要なお薬を飲まないのでは病気は治りません。副作用の発現には個人差がありますので、いつもと違う体調の変化などがあれば医師や薬剤師に相談してください。

●担当　国民健康保険病院薬局　電話　５－２１０６

町長日誌 Vol.199

＝新年度に向けて＝

第１回定例町議会（３月６～12日）において、新年度の予算が成立しました。予算規模は一般会計7,259百万円（前年度比142百万円2.0％増）、全体予算（８会計）は11,802百万円（前年度比192百万円1.6％減）となり、防災・減災、定住促進、子育て支援、ＩＣＴ教育などを重点とした予算となりました。町議会や町民の皆様のご意見を踏まえ、効果的かつ効率的な執行に努めたいと思いますが、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

＝より豊かな農村を目指して＝

新たな取り組みに向けて

・防災・減災　近年、毎年のように大きな自然災害が発生する中、町民の皆様により早く災害情報等を届けるべく防災無線を整備します。町内全戸と関係機関に防災ラジオを配布するとともに、役場、中士幌・下居辺公民館に屋外拡声器を設置します。

・定住促進に向けて　新住宅団地の造成、定住雇用促進住宅建設助成、若葉公営住宅（１棟４戸）の建設など、住宅環境の充実

・子育て支援　子育ての相談などに対応するための「子育て世代包括支援センター（母子保健型）」の開設

・ＩＣＴ教育　国のＧＩＧＡスクール構想（児童・生徒１人に１台の端末）に向けた小・中・高の校内通信ネットワーク等の整備

主なスケジュール　3月

２日	◆課長会議 ◆第１回新型コロナウィルス感染症対策本部会議
３日	◆議会運営協議会
５日	◆松浦弁護士訪問 ～元町立病院勤務の徳永医師から最高裁に上告提起されていた「損害賠償請求提訴事件」について、２月27日の最高裁判所において棄却となったことを受けてお礼および協議
６日	◆第１回定例町議会 ～令和２年度各会計（８会計）予算をはじめ提出した31案件について原案どおり承認可決いただきました。
16日	◆今年度末で退職される国保病院の前池田院長に退職辞令（３/31付）と感謝状を交付 ～池田院長：H15年３月21日～H17年12月10日、H22年４月１日～R２年３月31日の12年８か月にわたり副院長、院長としてご活躍いただきました。
19日	◆第２回新型コロナウイルス感染症対策本部会議
23日	◆道庁訪問　札幌市
25日	◆社会福祉協議会評議員会 ◆北十勝２町環境衛生処理組合議会　上士幌町
31日	◆退職辞令交付式および柴田前副町長退任式、髙木新副町長辞令交付（４/１付）就任式

新型コロナウイルス感染症予防に関わる自粛（中止、延期および縮小）で多くの行事や会合などが中止になりました。

人の動き

6,024人（－13）男2,932人（±０）女3,092人（－13）世帯2,737（－６）

※２月末現在（　）は前年比

美濃のまちから

美濃手すき和紙協同組合
和紙に関する書籍を市内小学校へ寄贈

鈴木理事長（左）から書籍を受領する
樋口教育長（右）

美濃手すき和紙協同組合の鈴木理事長が２月25日、美濃市教育委員会を訪れ、市内５つの小学校へ和紙に関する書籍１１０冊を寄贈しました。

寄贈した書籍「和紙―和紙ってなに？―」は、和紙の作り方や歴史などをマンガや図解を使って分かりやすく説明しているもので、編集の際には同組合による情報提供が行われ、美濃和紙に関する記述もあります。

鈴木理事長は「この本をきっかけに和紙について興味をもってもらい、いずれ地元から職人になる子が出てきたらうれしい」と話していました。

安全・環境だより

子どもを交通事故から守りましょう！

春先は気温も高くなり子どもたちが外で遊ぶ機会が増え、道路に飛び出したり、事故に巻き込まれたりするケースが多く発生しています。小さなお子さんを持つご家庭では、日頃から正しい横断歩道の渡り方、信号機の見分け方などの交通ルールを身につけさせ、交通事故に遭わないようにしましょう。

ドライバーの皆さんは、いつ児童が飛び出してくるかわかりません。時間にゆとりを持って、すぐに止まれるスピードで走行し、悲惨な交通事故を起こさないようにしましょう。

ごみ処理方式の検討を進めています

北十勝2町環境衛生処理組合のごみ処理の将来的な方向性を決定していくにあたり、状況分析と今後の流れを説明します。

①最終処分場を再整備することの困難性

・既存施設周辺での再整備は困難
・仮に、市街地から相当離れた場所での整備となれば施設整備費の増加に加え、運搬コスト等の増大が予想される。

②施設の老朽化と環境衛生

・既存施設は老朽化が進み、補修費が年々増加するとともに、将来的な環境基準をクリアするための再整備が必要になる可能性がある。

③財政負担

・既存施設の老朽化と維持管理費の増大が予想される中、上士幌町と士幌町の2町による維持管理を継続することは、費用対効果の面からも難しくなることが予想される。

これらのことを踏まえ、3月25日開催の北十勝2町環境衛生処理組合議会において「ごみ処理方式の将来の方向性を示す基本方針」が示されました。

今後、この基本方針について、町民の皆様のご意見等を交換する場(懇談会や説明会等)を開催する予定です。

●北十勝2町環境衛生処理組合（町民課住民生活グループ）

新型コロナウィルスに便乗した悪質商法に注意！

新型コロナウイルスの発生により、マスク不足や活動の自粛等で不安な生活を送られていることと思います。このような時期には、便乗した悪質商法の勧誘が多発しますので、ご注意ください。

◆例「マスクがないと大変なことになる、今なら通常の半額で購入できる」、「予防に効果がある健康食品がある」などの勧誘、「感染者への義援金の協力」といった訪問や振込依頼の電話などが予想されます。

不要なもの、不審な勧誘には、はっきりと意思表示をしましょう。

大型ごみ・鉄金物・小型家電忘れずに出しましょう

4月は大型ごみ、鉄金物、小型家電の回収月です。ごみの出し方を守り、忘れずに出しましょう。

前年度とのごみの発生量の比較

「可燃」と「不燃」の全体総量は減少していますが、4月は大型ごみの大量処分が予想されます。リサイクルショップなどを活用して、ごみの減量にご協力ください。

今月のごみ指数

単位：kg

	令和2年2月分	前年同期	増減
燃やせるごみ	58,040	74,870	−22.5%
燃やせないごみ	10,090	11,410	−11.6%
合　計	68,130	86,280	−21.0%
町民1人当たりのごみの量	6,024　11.3	6,140　14.1	
資源ごみ	33,137	37,793	−12.3%
有価物販売額(円)	221,650	280,308	−20.9%

ごみに関するお問い合わせは、町民課住民生活グループ
電話5 - 5231までお願いします。

いま、士幌高校では

３月です。季節は春を迎えていますが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため３月１日から臨時休業に入っています。生徒のいない校舎は寂しさを感じますが、非常事態の対応に先生方は日々、慌ただしい時間を過ごしています。

◆ＧＡＰ食材を使ったおもてなしコンテストで局長賞を受賞♪

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部が主催する「ＧＡＰ食材を使ったおもてなしコンテスト」に参加しました。釧路市と連携して、同市に合宿で訪れるベトナム選手のメニューとしてＧＡＰ食材を使ったベトナム風サンドイッチの「バインミー」、「どら焼き」、「ピンチョス」を考案しました。 全国から40チームが参加する中で上位９校に選ばれ、大臣賞に次ぐ「局長賞」を受賞♪本校の活動を全国へ発信することができました。

新型コロナウイルス感染症感染防止に係る臨時休業中の連絡事項等の対応について

現在、臨時休業中の連絡事項等については、本校のホームページを中心に発信しています。

３月24日までの臨時休業を予定していますが、４月の行事も含めて予定を変更する場合がありますので、関係者の皆様におかれましては、随時ホームページをご確認いただきご不明な点がありましたら、同校までご連絡ください。

士幌高校　電話　5-３１２１

◆行政相談に係る出前講座の実施

２月27日、行政相談をテーマにした出前講座を行い、２年生57名が参加しました。水道や道路の整備、ごみ処理など身の回りの生活に行政が深く関わっていることを学ぶ良い機会となりました。

【４月の予定】

○始業式・入学式	8日
○対面式	9日
○海外文化学習会	9日・15日・22日・28日
○身体測定	10日
○７時間授業	13日・20日・27日
○心電図・結核検診	15日・17日
○尿検査	21日
○授業参観日・ＰＴＡ総会	25日

ホームページやフェイスブックで本校の様子を紹介していますので、ぜひご覧ください。

士幌町教育委員会

教育の窓

令和２年度　士幌町の教育

「士幌町の子どもたちの優れているところをより伸長させたい」～5つの窓から～

◆自分にはよいところがある
◆難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している
◆物事を最後までやりとげてうれしかった

いずれの質問にも「あてはまる」と回答した割合が全国平均を上回っています。
＜令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より＞

社会で活きる力の育成

◇基礎、基本を身につけた確かな学力の定着

◇心通わす「主体的・対話的で深い学び」の授業定着

学びを支える家庭・地域との連携・協働

◇「育みたい子ども像」を共有するコミュニティ・スクールの取組

◇安心、安全な教育環境づくり

豊かな人間性と健やかな体の育成

◇いじめやネットトラブル、不登校の未然防止、早期発見、早期解消の取組の充実
◇体力向上と生活習慣の定着

学びをつなぐ学校づくりの実現

◇こども園、小・中・高等学校とのなめらかな接続

◇教職員研修の充実

教育実践のテーマ

「過去を見直し
今を見極め
先を見据える教育」

学びを活かす地域社会の実現

◇生涯学びあえる環境づくりの推進

◇町民一人一スポーツ運動の推進

町民文芸

俳句

・休校の娘ファミリーや味噌作り　和田　節女
・いつの世も腕白にあれ入学児　星屋　徳峰

川柳

・マスクマン民の姿や見えぬ菌　和田　節子

短歌

・恐しきコロナウイルス感染が世界中に安全の日が　白木美恵子
・新春の三ヶ月（みつき）を籠る味気なさインフル・コロナと振りまわされて　谷本　幸枝
・春来しに病ひに倒れし子と二人ふらふらよたよた今日も暮れたり　小川　季代
・ヘルパーを共に学びし仲間達想い出話に時刻みぬ　清水さよ子

バトンタッチ

両親の背中を見て学ぶ

中士幌北
中川（なかがわ）誠仁（まさと）さん

プロフィール
◆家族構成◆
父・母
◆士幌で好きなもの◆
士幌のポテトチップスならなんでも！
◆旅行にいくとしたら？◆
アメリカ

誠仁さんは士幌町出身。高校を卒業後、帯広高等技術専門学院自動車整備科へ進学し、車両整備全般の実務を学びました。自動車メーカーに7年勤めた後、昨年ご実家の中川自動車へ就職しました。

物心ついたときから両親の仕事を見て育ち、整備士になることに憧れていたという誠仁さん。現在は、主にトラックの整備を担当しており、慣れない作業に勉強の毎日だとか。

それでも、大がかりな作業を無事に終えた時の達成感は何事にも代えがたく、とてもやりがいを感じるとのこと。焦りはミスの原因としかならず、日々の仕事では、何事も落ち着いて作業することを心がけているそうです。

趣味はバイクに乗ること。夏はよく遠出し、最近では函館へ行ったそうです。「いつかは北海道をバイクで1周してみたい！」と笑顔で話していました。

次回は、共進の渡部嵩史さんにバトンタッチ。誠仁さんから嵩史さんへ一言。「お互い仕事頑張ろう！」

したしみ図書館 新しく入った本

【児童書】

パパトラ　（きむらゆういち）
スキップスキップ　（黒井健）
プレストとゼスト リンボランドをいく　（モーリス・センダック）
さくらがさくと　（とうごうなりさ）
さくらの谷　（松成真理子）
まいごのしにがみ　（いとうみく）
サブキャラたちのグリム童話　（斉藤洋）
おひめさまになったワニ　（ローラ・エイミー・シュリッツ）
キッズペディア歴史館　（小学館）
琉球という国があった　（上里隆史）
ボランティアをやりたい!　（さだまさし）
楽しく遊ぶ学ぶまだある!ふしぎの図鑑　（白數哲久）
スポーツびっくり図鑑　（望月修）

【一般書】

三世代探偵団2　（赤川次郎）
ドミノin上海　（恩田陸）
うちの父が運転をやめません　（垣谷美雨）
歌舞伎座の怪紳士　（近藤史恵）
トラットリア代官山　（笹本稜平）
コープス・ハント　（下村敦史）
〈銀の鰊亭〉の御挨拶　（小路幸也）
猫君　（畠中恵）
坂下あたると、しじょうの宇宙　（町屋良平）
魂の痕　（梁石日）
生きるための辞書　（北方謙三）
エンド・オブ・ライフ　（佐々涼子）
味噌の教科書　（岩木みさき）
きちんと身につく着かたの教科書　（木下紅子ほか）
発酵あんこのおやつ　（木村幸子）

★本好きの下克上
第一部　兵士の娘1
（香月美夜）

大好きな本がほとんどない世界に5歳の女の子マインとして生まれ変わったわたし。手に入らないなら、本を自分で作るしかない。文字を覚えて、紙の素材を集めて、本を作ろう！原作をもとにジュニア向けに読みやすくしたもの。

★自炊のトリセツ
（小田真規子）

自炊は、節約と暮らしの豊かさのどちらも実現してくれるもの。卵、肉、魚、野菜等の食材の取り扱い方、「焼く」「煮る」といった基本の調理法、炊飯器を使いこなす方法を、豊富なレシピとともに紹介。

★★今月の休館日★★
7、14、21、28日
（毎週火曜日）

したしみ図書館（総合研修センター内　教育課　電話５－４７３３）【開館時間】10時から18時まで
https://www.lics-saas.nexs-service.jp/shihoro/webopac/index.do　※URL が変更になりました！

★善意に感謝します★

寄付・寄贈

▼協働のまちづくりに係る基盤づくりに関する事業

(有)富田牧場（吉野）　50万円
和田　登志男さん（佐倉南区）　3万円

《特別養護老人ホームへ》

長谷川　隆弘さん（帯広市）　ティッシュ
JA士幌町女性部　タオル
武藤　みき子さん（いこい）　膝掛け
成田　眞貴子さん（みどり）　車イス・上靴
中川　敏さん（中央）　車イス

《社会福祉協議会へ》

富田　忠雄さん（吉野）　10万円

★おくやみ★

吉田　敏子さん（97歳）　みどり
濱野　美保子さん（69歳）　士幌北団地
兼山　和代さん（61歳）　松　室
下村　笑子さん（91歳）　中音更
齊藤　千枝子さん（80歳）　平原第一
富田　澄さん（101歳）　吉　野
小川　ツユ子さん（73歳）　士幌北団地
沓澤　美雪さん（97歳）　新　栄
中川　富夫さん（84歳）　中　央
山本　シズエさん（90歳）　文　化
藤村　美貴さん（83歳）　百　戸

★お　誕　生★

折笠　巧真（たくま）ちゃん　佑　介さん　士幌南一区
（2月12日生）
早坂　匡悟（きょうご）ちゃん　祐　子さん
（3月7日生）
志　乃さん　雅　充さん　西居辺
（3月15日受付分まで）

たくさん集めました♪
～士幌小リングプル寄贈～

2月20日、士幌小学校ボランティア委員会の児童がリングプルを寄贈しました。委員会は4年生から6年生の児童で構成され、リングプル収集のほか赤い羽根共同募金の呼びかけや教材室の掃除など、自ら内容を考え活動しています。この日は同校校長室にて、委員長の三井逢華さん（6年）と委員の原珠希さん（同）が保健福祉課の堀江菜穂子課長に学校で集めたリングプル約2・7kgを手渡しました。このリングプルは、リングプル再生ネットワークへと送られ、一定量たまると車イスと交換されます。

～心より感謝申し上げます～

暮らしのカレンダー 4月

日にち	行事予定		場所
1 水			
2 木		中士幌保育園入園式	
	9:00～9:30受付	まる元運動教室	福セ
	10:30～11:00受付	まる元運動教室	福セ
	13:30～14:00受付	まる元運動教室	中士幌
3 金	9:00～11:30	赤ちゃん相談	保セ
	☆9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
4 土			
5 日			
6 月		川西へき地保育所入園式	
	9:00～11:00	妊産婦・一般健康相談	福セ
	☆9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	☆10:00～11:00	ぴよぴよ広場	中児
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
7 火		認定こども園入園式	
	☆9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	10:30～11:30	スマイル教室	保セ
	13:00～14:00	ふまねっと	保セ
	13:15～13:30受付	予防接種	国保
	(四種混合・水痘・日本脳炎・不活化ポリオ・B型肝炎)		
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
8 水		各小学校入学式	
		士幌町中央中学校入学式	
		士幌高等学校入学式	
	☆9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
9 木	9:00～9:30受付	まる元運動教室	福セ
	☆9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	10:00～10:10受付	もぐもぐ教室	保セ
	10:30～11:00受付	まる元運動教室	福セ
	13:30～14:00受付	まる元運動教室	中士幌
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
10 金	☆9:30～11:30	わんぱくの日	認定こ
	13:00～14:00	ふまねっと	コミセン
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
11 土			
12 日			
13 月	9:00～11:00	妊産婦・一般健康相談	福セ
	☆9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
14 火	☆9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
15 水	☆9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	13:00～14:00	ふまねっと	中士幌
	13:15～13:30受付	予防接種	国保
	(四種混合・水痘・日本脳炎・不活化ポリオ・B型肝炎)		
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
16 木	9:00～9:30受付	まる元運動教室	福セ
	☆9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	乳幼児健診（受付時間は個別通知）		保セ
	10:30～11:00受付	まる元運動教室	福セ
	13:30～14:00受付	まる元運動教室	中士幌

日にち	行事予定		場所
17 金	☆9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆9:30～11:30	おひさまの日	認定こ
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
18 土			
19 日			
20 月	9:00～11:00	妊産婦・一般健康相談	福セ
	☆9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
21 火	☆9:30～11:30	なかよくあそぼ	中児
	13:00～14:00	ふまねっと	保セ
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
22 水	☆9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	10:00～10:10受付	むし歯予防教室	保セ
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
23 木	9:00～9:30受付	まる元運動教室	福セ
	☆9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	10:30～11:00受付	まる元運動教室	福セ
	13:30～14:00受付	まる元運動教室	中士幌
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
24 金	☆9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	13:00～14:00	ふまねっと	タウン
	13:15～13:30受付	予防接種	国保
	(四種混合・水痘・日本脳炎・不活化ポリオ・B型肝炎)		
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
25 土			
26 日			
27 月	9:00～11:00	妊産婦・一般健康相談	福セ
	☆9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	13:15～13:30受付	ＢＣＧ予防接種	保セ
	13:15～13:30受付	麻疹・風疹予防接種	保セ
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
28 火	☆9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児
29 水	昭和の日		
30 木	☆9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆13:30～15:30	ごごの広場	中児

【凡　例】

保セ→町民保健センター　国保→国保病院
福セ→総合福祉センター　中士幌→中士幌地区公民館
中児→中士幌児童ステーション　タウン→タウンプラザ
認定こ→認定こども園　コミセン→コミュニティセンター

※子育て支援は、未就園児が対象です。また、キッズ・クラブは、会員登録制です。☆印のお問い合わせや子育ての相談は、子育て支援センター（電話7−4102　FAX7-4447）・認定こども園（電話5−2502　FAX5−2508）まで

※「まる元運動教室」は、要相談。お問い合わせは、地域包括支援センター（電話5−2188）まで

発行　士幌町
編集　総務企画課 企画グループ

〒080-1200 北海道河東郡士幌町字士幌225番地
企画グループ ☎01564-5-5212 FAX5-4304 HP http://www.shihoro.jp/
広報広聴担当Eメール kouhou@shihoro.jp

UD FONT この広報誌は、ユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。